　　　　　　　　春季彼岸法要（ご案内）

謹啓　ようやく春の日差しを感じるこの頃です。ご門信徒の皆様には報恩講におきまして大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。めったにない活気ある報恩講が勤まったことを皆様と共にお慶び申しあげます。

　さて、春になれば春の宿業が押し寄せてきます。畑のことや草のこと、子や孫の事、諸行事等、ひとり逃げられない宿業の日々であります。もしご本願の教えがなければ業に押しつぶされて愚痴を言い、なげやりな日暮となり、空しい一生となる自身であります。親鸞聖人は言い訳をせず自分の宿業を最後の一息まで燃焼されました。その生き方、教えを聞かれて私達の先祖たちは宿業をご縁として与えられた環境に喜びを見出し人間として深まり尊い生涯を送ることが出来たのであります。四月の春彼岸となりますがご参詣下さいますようご案内申し上げます。　　　合掌

　記

　日　時　　四月十七日（日）昼席　一時半より

　　　　　　　　　　　　　　　　夜席　七時半より

　　　　　　　　　　十八日（月）昼席　一時半より

　布教使　　住職

　　　　　　　　感話者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　普光山　　長　仁　寺

御門信徒各位